

学校における働き方改革の取組方針

野洲市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画(R8概要版)

教職員が子どもと向き合う時間を確保し、ともに元気で生き生きと活動できる学校にするために

趣旨

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（改正）に基づき、教育委員会は、「教育職員の業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定しました。

学校教育においては、教職員が心身ともに健康で、働きやすさと働きがいを感じながら働ける環境の構築が必要です。この計画は、適正な勤務時間の管理と健康保持をし、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、数値的な目標を示し、取組を定めたものです。



計画のポイント

時間外在校等時間に関する目標

- (1) 1年間に於ける1か月時間外在校等時間の平均時間を30時間以内にする
- (2) 1か月の時間外在校等時間が45時間超の割合を20%にする
- (3) 時間外在校等時間月80時間超の教員の割合を3%にする

ワークライフ・バランスや働きがい等に関する目標

- (1) 年間の年次有給休暇の平均取得日数を13日以上にする
- (2) ストレスチェックの「働きがい」の項目について「大きい」「やや大きい」「普通」と回答した教職員の割合を75%まで高める
- (3) ストレスチェックにおける健康リスクの値100以下を維持する

目標 (~R9)



具体的な 取組の内容



学校以外が 担うべき役割

- スクールロイヤー等専門家の協力
- 部活動地域展開における部活動指導員の拡充
- 地域の皆さんに協力していただける登下校の見守り活動
- 小学校プールの外部利用

学校・教職員の取組

- 部活動の活動時間をR10年度終わるまでに平日3日活動にし、終了時間を16:45までにする。
- 自動応答電話設定時間解除7:30、設定18:00
- 基本的に勤務時間外に会議を開始しない。
- 定時退勤日の設定
- 時間外在校等時間月80時間を超えないようにする。
- 有給休暇年14日以上取得
- ステップウィークの設定

市教委による取組

- 三上小篠原小に自動応答電話を設置
- 長期休業等の期間中に1週間以上の一斉休校期間を設定
- 野洲市学習リンク (YSL) クラウド上で授業資料等の共有できるスペースを作成
- DX化の推進。
- WLB枠教員の配置
- 一部の学校に教頭マネジメ配の配置
- 2か月連続月80時間超過勤務時間教員の産業医面談

用語説明

- ・ ステップウィーク
長期休暇明けの学期の始まりについて、時間割を見直し、なだらかなスタートとする週間のこと
- ・ WLB枠教員
ワーク・ライフ・バランス枠教員のことで、教員の休務等発生時に教員の欠員を補充する。
- ・ 教頭マネジメント加配
超過勤務の多い教頭の仕事を支援する支援員。

公表について

- HPへの掲載
- 学校運営協議会への報告
- 総合教育会議への報告
- 学校評価結果の報告



野洲市教育委員会 令和8年3月策定

